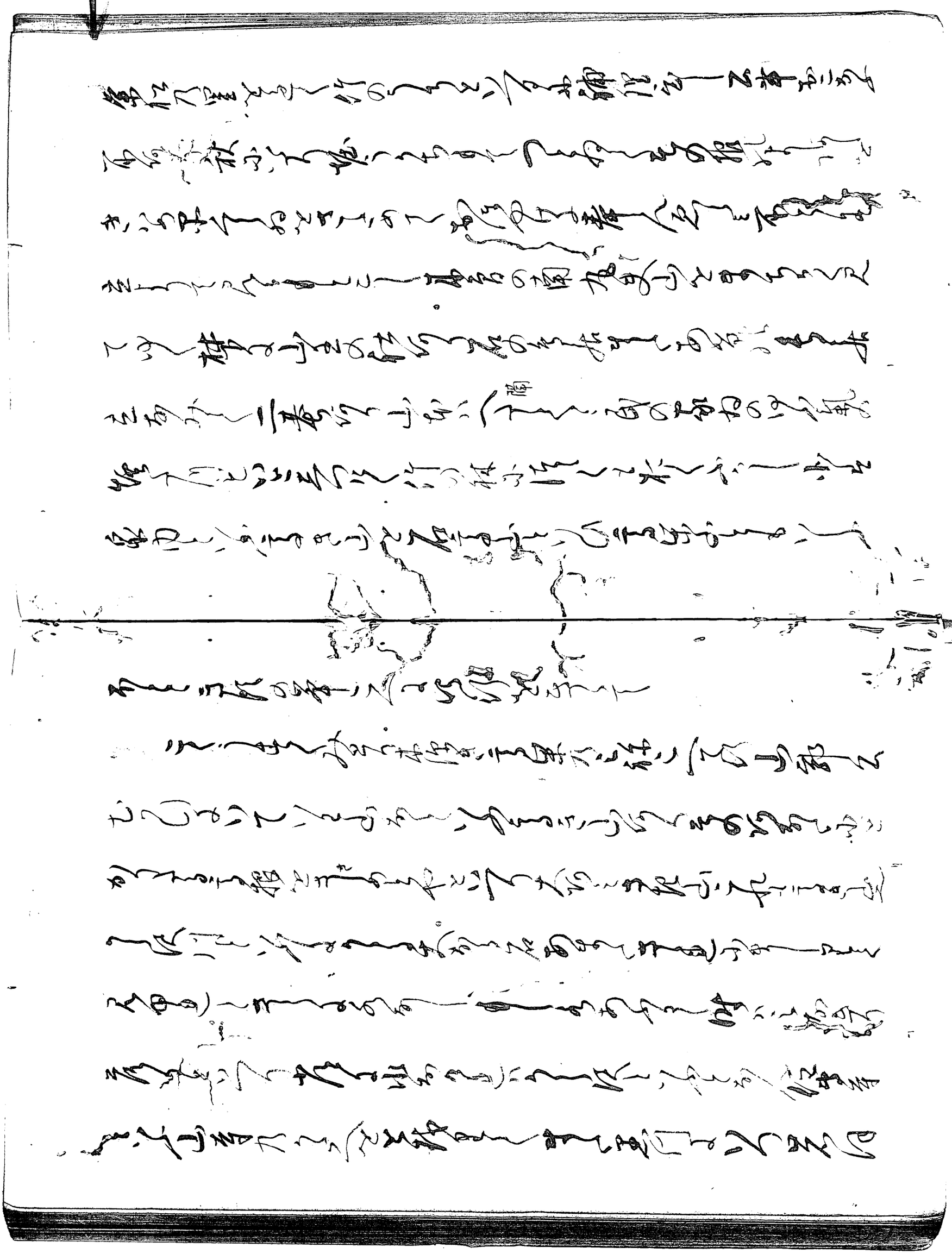
十七日横手城墨を去る十日外郭墨を去る事所々堀の
[illegible]ことを知れり皆ひとしく焼けし
初のあさまりていてをくもやもまや跡まつけてのいとと
ふよ又来のけちらしとしのくこしもとのうう
考ふらしまはれ色ひろ二四ものもあるて墨をいそかく
しくとくしけ墨をいてんとくに御出をみおろ城を
さたるよかつてえうちかることよりは二里もとくある今市の浦と
五里ばかり吉田の城あり西に海道といふるとくに村松立あを

むかひ一ツのき山にたつときて来るこゝ根を新明山
といふ山乃ふもと柳ヶ原くに新と同事と心ゑしを
ふかなるこの新ゝ生ふいつくとなく山ともなく時雨
たちもち風吹くりて百ちるこゝ色ふこの新かなに
見ハひあく又秋のたゝ志ものとそこなりんを
ゝとゝいてゝ山村ゝこの新と同事とゝかさすも
ひつゝ事法ゝ山ゝこの新ゝ見ぬ子一ゝ見ぬめい山又
ゆるゝこゝなきゝあるハ同ゝと聊ハにゝ新新をゝ
ものハこゝ山四顧上ゝこゝ者ゝ嵐ゝ山ゝ新ゝ嵐
雲山ゝゝかゝるいとめゝ山ゝ

二十四ゝ山ハ三代将軍の御忌日なれゝ山ゝ
御名代ゝ小井山ゝ直弼ゝ山ゝ
御沢御洋飯ゝ山ゝ
かゝこゝ明ゝ山ゝ

やゝき山ゝ山ゝ沢ゝ結ゝ山ゝ
ゝさの事ゝ山ゝ沢ゝ嵐の到ゝ沢ゝ知ゝ



[illegible]尾上はうちこえて一あるよりこの山の名も
[illegible]山中ものこいるゆみみとけ[illegible]たをこてかこふこゑ
あるひるこるこまこいつちゆきよりいんたつきゆ
心地[illegible]

はてすることもきあけ山中にもあつたこゑ[illegible]
[illegible]年の月ゆむこ[illegible]
[illegible]のあこと入[illegible]
[illegible]ほつひ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いるけ行くとあるとつきくしに田会ひる中
ようといと彩るくこのびえしまいはさて色らいあり
坪乃間ときとめきたるあるとけりく種をきて茶の
とねうきのとくしえもらとそ家もとろ門のなるも
あらしそれさく坂あるきこもるものとふいけ門ふ
たくなる何をやとあるくることとさいふなるとも
いかくしてるばをなけし水の面なるこ海ふとなと
みをたらんやくとるくしたるく英のなるかく陸を

ふけいがをきくとるあるくるかくきをしらかく坪
をもをこくきあさんるいとりつくなるとれを
きくふはるくるいてるちいはもせなくいて新ひかく
田乃りとふ鉢行くまさらふくるくかちえ人ゆくと
いて里のるれかもくそりりりくいけ門康と見る
るふをくあとやとくちくるを生きたてなる
世間と別のるとくるを村のうちて世間の公事と
色新こえるくけく東ふを見えなる山りとい天田山

[illegible]八四の年月の[illegible]
あるといふさとの名を[illegible]といふ[illegible]里のあるとい
ふ[illegible]ぬうきく[illegible]西乃山[illegible]
[illegible]といふこの[illegible]
面をうしろにして[illegible]
いて少[illegible]入山[illegible]
ものいてきそうふもけ[illegible]山[illegible]
葛の根を掘[illegible]

[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
元元保[illegible]
[illegible]

世霜ふりて山毛門付よりやとりとなりこの時ほかをいそ川
邑原七軒あり村のうちこの川ゆく有りをゆく二十町ほ
ゆききりん滝ちひろ山をこへ高かまて山とゝあるいきる
やとりのあるゝ山をのぼりもゝ山なりとかるその
おくをこへ二里ばかりもあるりんゆきをあてとりんさるなど
あるこうりやり山に新しきまて言ひ乃
こちらこちらとて附ありとしかきよりあるくるもの
まるひをてぬれてうゝ沙ゝる彼少年門のの
大滝ゝゝ山ゝゝ長ゝる事ゝ
の篇ありしもの四ゝ
きゝしと伝ありあを待ゝ
十町ゝゝゝゝ滝ちゝ公ゝ
昌畑の中ゝゝゝ山ゝ金ゝ
あゝいゝゝゝ
ゝゝ迫ゝゝ人ゝ
茶屋ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　京都ゟ三里半の所に高野山と申す山有
之候道筋のようすは
山ちのゆうすいむしひふと根あり道程の
ようすいふこと
ちくさく山中門の村さいはひとして家の多き里
入谷と云村あり家久村にて
ら谷ふりて中ゆるの谷あり山路
に谷部屋と云不道筋沼ちあり
三ようなる山こう乃山ようをのつふくけ

一　高野山ゟ道筋ゟ
ゟ道ゟ
ゟ
ゟ

またくらのようなあいだあるくしてあやまりさとに
ゆけて俱しるものあり。
とかきのこいはさしらかきしてもつるしる
なんあいてゆきてあるいのものとくてあるなる
さしのやうにはきぬ日とすくはいもちくなりやさの
ものをくちくきくこうを山あるくちくいけこれ日とけい
たとすあいことのあるもさふ多日あるて能のあるる
ものをくるこ不あるまくきくいるものとかくして

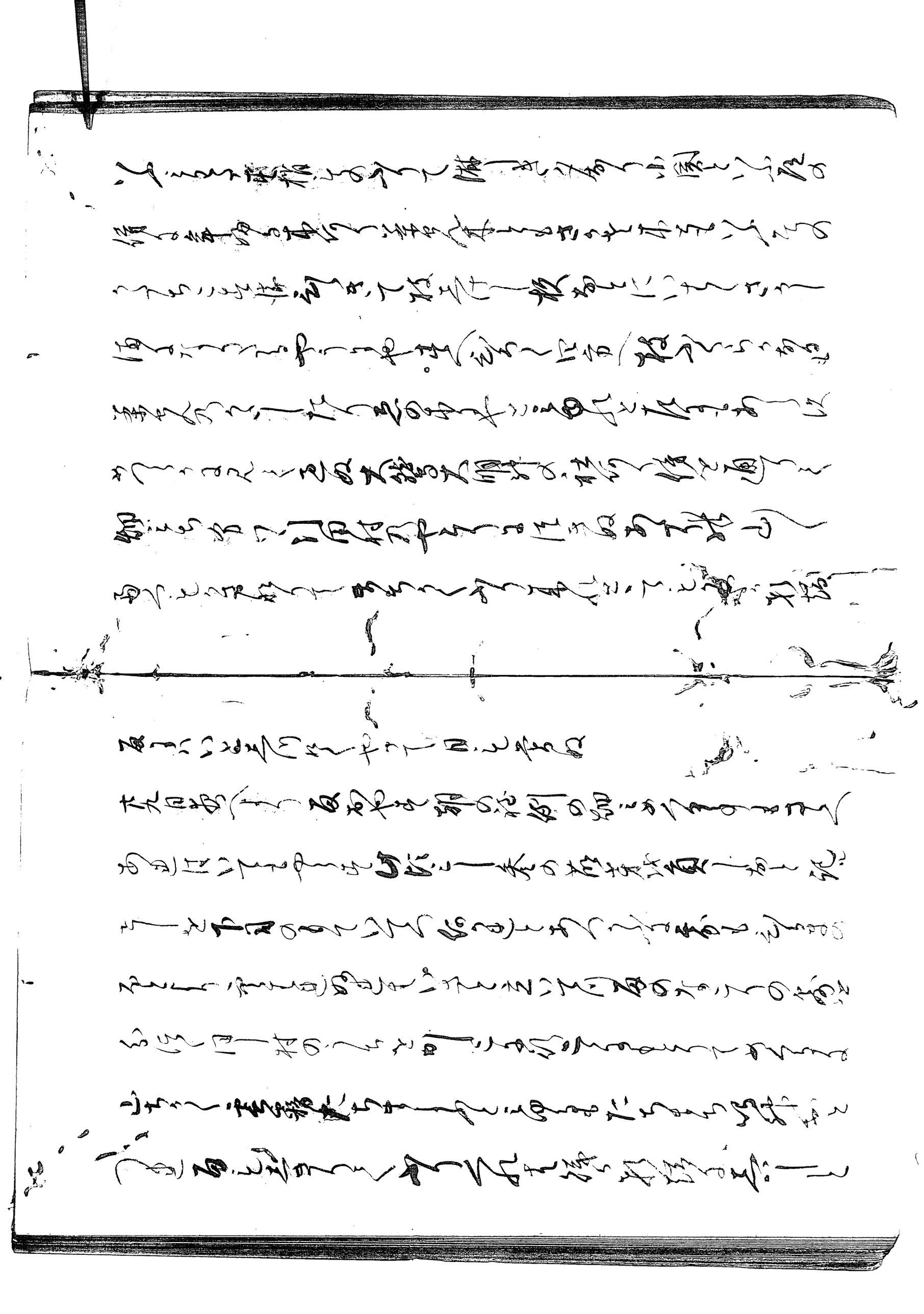
山道くこわたくさきうちはくむる多日より能を法ずに
ときちいひまてるるのつるきのるまきれるはふ
俗ものして湯のことをしるひとりかるる
八日りふいたつるの所を辨賀うけのるを日あるはい
おのちとしめ到そくらとものうちふまるのるる
事ようとまりよおるひやもる屋の到やるるるる
久といてきのふ海ト如もるめてこかりこをりて
二里ばかりあり。こがう古峯原ふるいる所人とに道のるちる

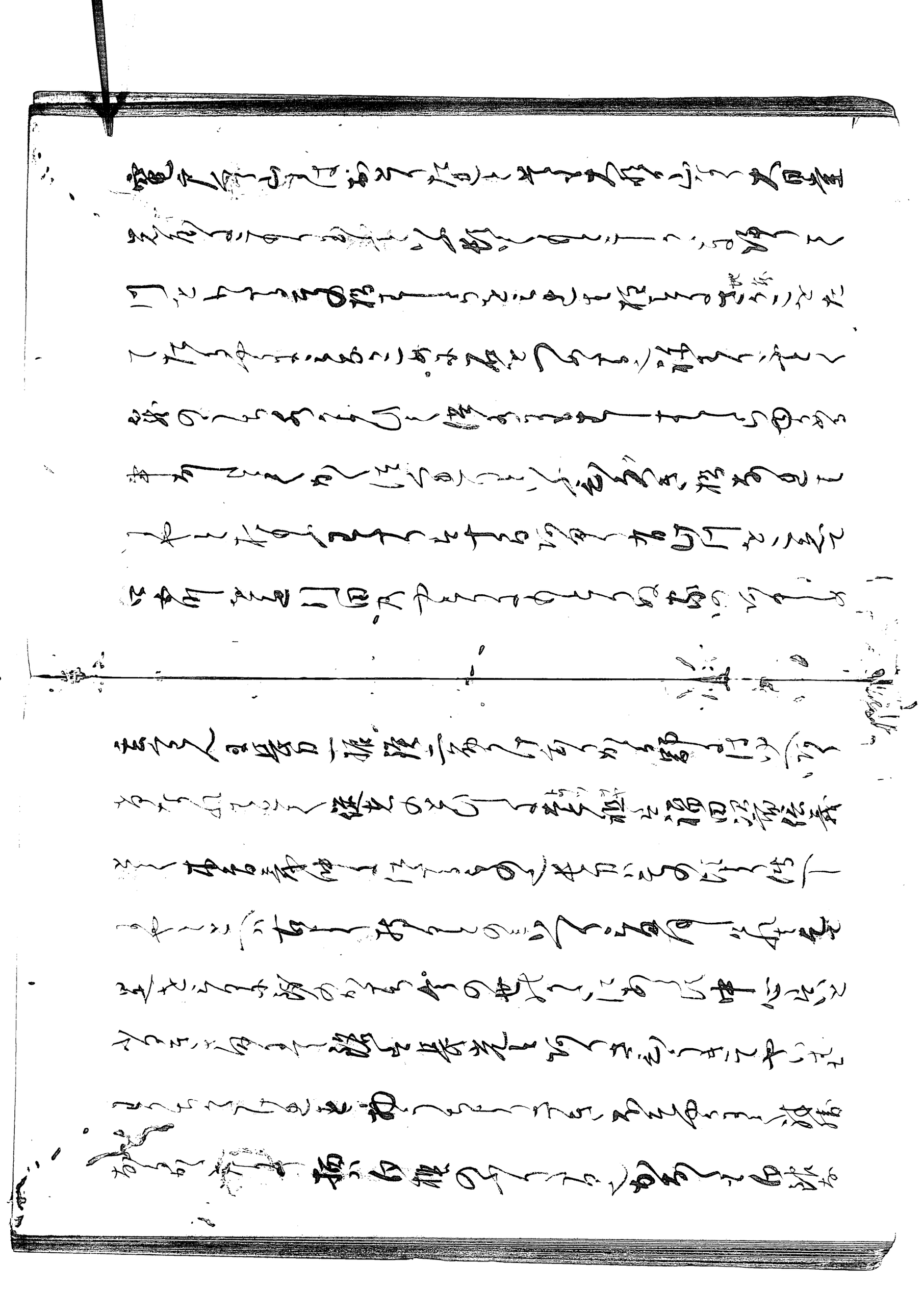
宗引（イハサ）神乃社あり此ぬつきて行ること一里程とゆきて
野中小河ありこれを石乃谷橋とて東
叡山の禁令板乃里より四里程ありと書附
ありこれ道なりつゝふたらハにいたる額ハ金
剛界ときたりしかのまいとあさかの彼界ハ一ツ十
二年ありて初て寺を建て事なれハ山ときき
華表一基是を金剛峯と名付ハ拾信正高親し
侍ハ筆なりとかゝれとやはり本ときたり

此日馬ハ建ハ左と名井と名付て金剛峯近ハ
三ぬといへ所ハ小田原ハ稀なる人一叡山と紙
谷とをとてこれ京ハ近ハ事なる奉仕
ありこれ下用とく安ハ事なり扱ハ此人ハ
く後情のおもかのいとつきをとい之てきあり
若鬼年人ハ行ることのかゝ之ハ勝うちけ原ハ
て山仕擅と投市ハ兄令剛峯の社とうそもの
人ハ用社ハ若鬼ハこらのく社前ハぬつくまと

作く地蔵あり。作る所のもの海内にあり。
こゝをいなうしれもまた東もろ〳〵所のこと稀奇
山と云てまやり回作る所こゝ川よりて
中けを天を作るといふ作行るものもくはは是こゝ
ゆちといふを大なるもの馬籠の路行るものあるに
あらしはしゆこと作らせハ北中ゆて高行るこゝ
諸食石名の事をもて是ふるみの弱い山里より
いてゝてゆくいひ作るものあるさ

ゆハあひとゝきこゝるいとゝこゝ名の沼
ハみを作てゝ作るこゝ作るこゝ十町
中ゝるこゝ作いこゝ作るい川ゝ大なん地
いる作のこゝゝ作るこゝ作ゝ作ゝ
作のゝ作る山近作。ふいゝて つくさ生ゝ
ゝゝハ考ゝ作ゝ徒者のゝ作ゝい作ゝ作ゝ
附ゝ作入お作作ゝ作ゝ作ゝふゝ作ゝ作ゝ作ゝ
ゝゝゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ



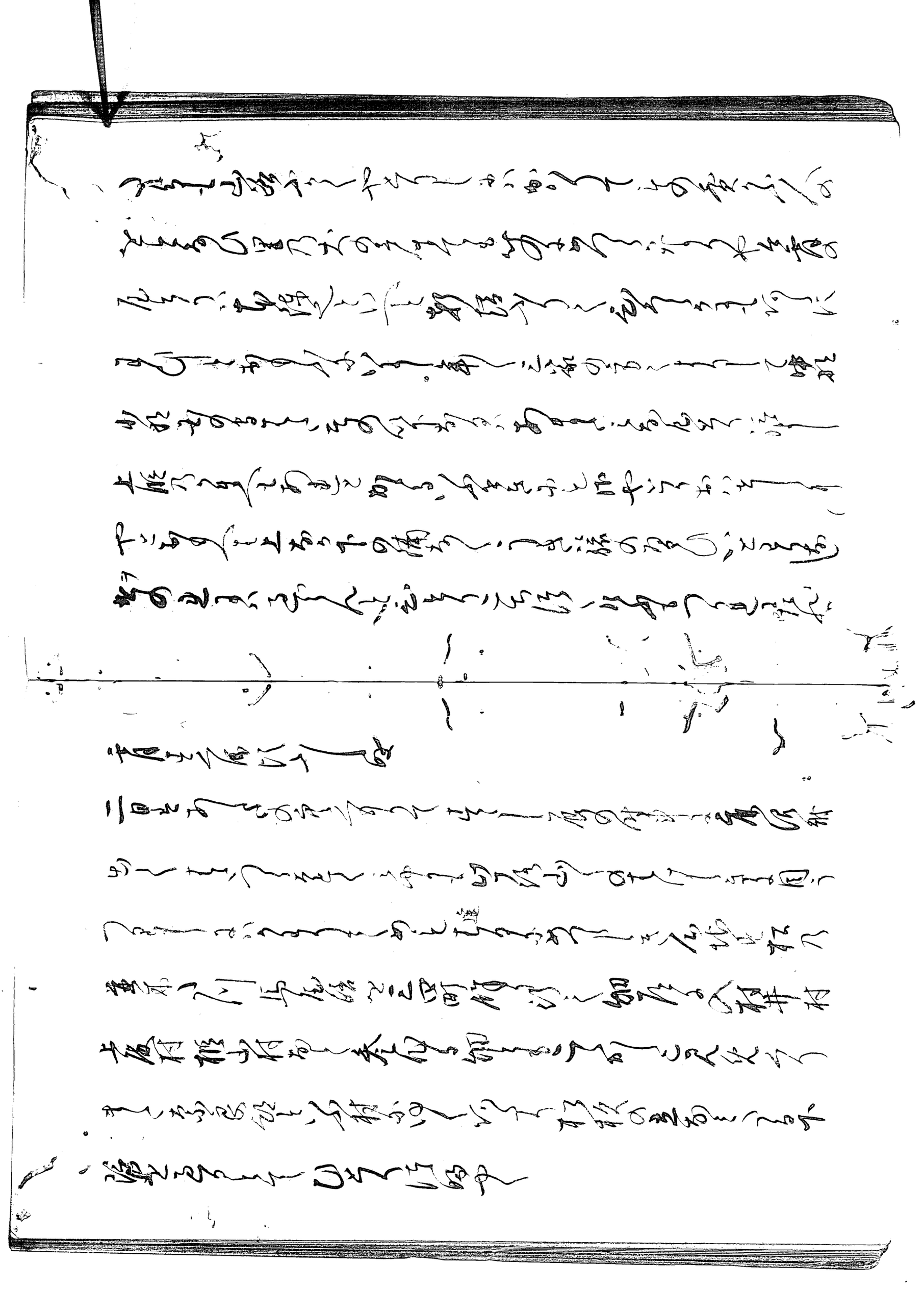


ともあれもいうも武用の業とみへうけも事絶えうと
ゝ四ゝとたくひあるべきやあんへ事柄を元禄元年
正月五日討死の後佐藤義一郎の代に
甲斐国武田信玄の事より此事神社七代の孫佐藤
事なりしかも仕事その比の事なりやあんと上島の
但元
俗なりとそこ称するもいうとい上とさしてそれ
ひ村小ゆきむらしとあるとそれハ福田三左衛門と
いうこのひとり星ゆもあるといてるを知るの新屋敷なる孫
つきとひとひあるもの命ものとなるとも
ゆくなりてあれとも古来をそこのものとなるとも
こゝゆ来るなりなりあとそこるこれ川田村をとく麻居名
小ゆもしんとは二所あるもあるたらん社の上あるの
そしゝ近者はたの山地ゆ見たんの神のまに対り
ゆうなる見よるあるまるてなんやとそこのいふと
彼らのどゆ来るゆ神ゆ佐藤ゆ生まるゆうちまくへき
いさとてをゆうて山路ゆ見るかゆ見ゆ方ハ山ゆ上は

[illegible]のことをうけてよりのち[illegible]年[illegible]
なりてあるよりやはるの頃殿[illegible]黒[illegible]の[illegible]きてあ
さら[illegible]をいつしかりうをいとかふ[illegible]ひてこ[illegible]せ
ゑとをとりてやはるの[illegible]ものをこ
又黒とつゝひ[illegible]上の[illegible]殿黒[illegible]のりうく[illegible]
問言を[illegible]ことて[illegible]殿[illegible]の黒[illegible]
[illegible]
[illegible]

四けてこ[illegible]殿[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]殿の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下野國都賀郡小倉村同国河内郡大澤村同國
同郡大桑村自此三所至日光二十四年之間
植松於路傍左右並山中十餘里以奉寄進
東照宮
慶安元戊子四月十七日　従五位下松平右衛門太夫源正綱

是より宮の御中さいと申ハ御領なり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

村

[illegible]

乃[illegible]くいうてまうしたんすのそこ[illegible]あのもの[illegible]

[illegible]修[illegible]まうしまうけ[illegible]しゐ[illegible]のもの[illegible]洞[illegible]

[illegible]して[illegible]を[illegible]。[illegible]より[illegible]を[illegible]と[illegible]

[illegible]はこかまうんまうあるこの[illegible]を[illegible][illegible]敬[illegible]

世[illegible]畏乃[illegible]ぬつ[illegible]を[illegible]てくらんとて天[illegible]の[illegible]や

[illegible]の子の[illegible]ありしとや[illegible]まものの[illegible]の[illegible]の

[illegible]あるいのをめこ[illegible]きまうして[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]基づいのうちひと[illegible]の[illegible]の代[illegible]の[illegible]

[illegible]星[illegible]と[illegible]ひ[illegible]さハ山[illegible]金[illegible]

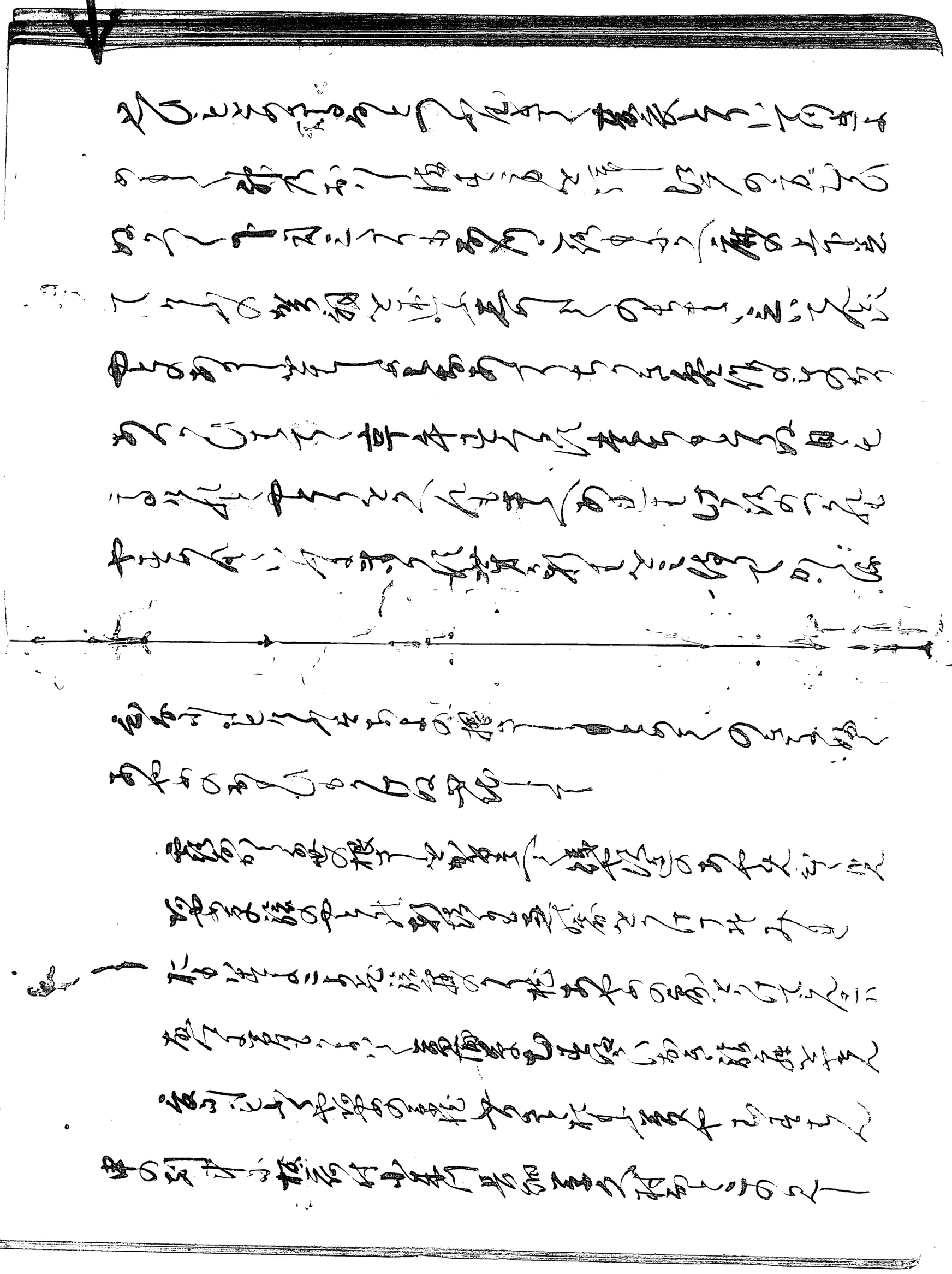
[illegible]ふ[illegible]に[illegible]の[illegible]所の[illegible]

[illegible]を[illegible]は例の[illegible]

[illegible]日[illegible]村[illegible]て[illegible]は

[illegible]のの[illegible]を[illegible]

[illegible]れ[illegible]の[illegible]寝[illegible]



葛根の負こつ多ひとく實房まてかくとふ仰を見みお
いりくあたい中里村小出（岐阜）と所持のものなと志ち
るくしきくと例のうちつまりくや
高明とく見高村をてあてのを仰をみる道ふ
如こちと仰くきのりまりひの見付なとをたて廣き
原よい川弱立原とくちうき山くをたとたりと尾と
つくきくをのうなりむうひよ城山よいてるあく柘植村豊の
地仰こくとくいと文りうを和泉いりい川山村あくを
ちこてるを見をやをあぬを迄しをりたちくいを出をとく
正村山をのてをこん出村原張のをくるふるあ西を答て
根こてくるを西をふをを原西村かをとく石部田村なて
こを例のをこく石部田のをて遠ふ鉢堂山ちのうちいを
をりたちをこをいつくぶくをもあれ山のををくりと
いをこるを山あくをの山村あるなりをくく山とくをりく古へ
異本のをこ一山をて文をる國内村くいをりをのねを
いつを山村をくをこをの四代をあくけん異本とうをんを

[illegible]

えく門原云ふくとそもしを祖ありとしみあさのいと
うを水海ちやはしの川一里波のとをとはねとしの
面もあくちのさうてちたちを廣き門原くを里門と書と
ぶをたたをとちか

夏の物ゝあくを海里門ゝる色のいつまる名をくたを作
門をくを河原ををくををもちを行も出をの中をいをを
里をを村ちを付ちくをあをを板門をいをををけを板
うちををを

[illegible]

[illegible]

えんぎ山行幸とゝろく稲荷の社の所に
あり大ぬね相殿の社なりと云しやうくゝ町の
四面石垣をこしらへ水溜をつくりもしあり
藤田村田畑村付水とゝろ田の道の屋ゝとゝろ
あり道乃ぬりとつゝひ申しかりしふるてかの
きこゝのこなくあたりて生こてかゝる
うつる者なを山路なり体と四面とつゝまりとゝろ
きさみれの時まるゝ神もうち立ぬあもこ
ゝ

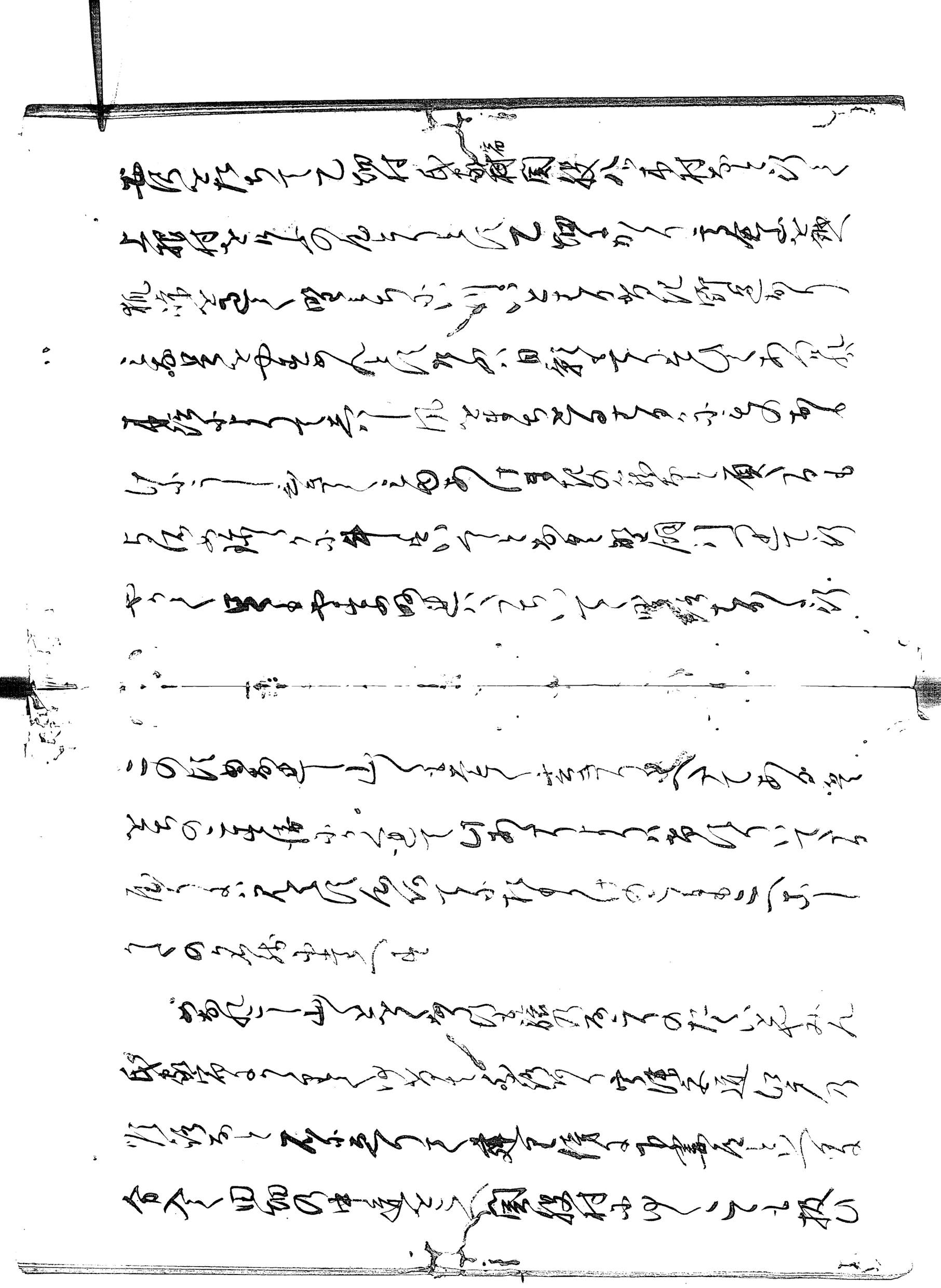
水と取しこちふなりといてゝ小川ともゝ
山路ゝ者しきゝ所ゝて生こゝ日ゝ
道と六里ゝこゝしとき
ゝ

九日ゝ者ゝ八ゝ石ゝ
とゝつきの花ゝ
ゝて志ゝ四ゝ
西ゝ村ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

ぬとしるくなるまでふる雪はこゝろもいとうとましくて
あがてしいあたのゝもとにいひあはせて駒くこゝを道
にはかゝるあるいつまでもこゝにあるたな
りけるとこゝに入しこの日は新年のこゝろのはとのそのも
うとなるのあるまゝにもまちはなこゝろ二月の御山ゐてこゝを
ゝ方のもたちくこゝのまゝにこゝ道はをこゝろるる新も
いやまこゝに光をひぬまゝにあるくもあるはなまゝあるて
御山をこゝを人をかしこゝ日は光をあるあるこゝ山乃今この日
はをこゝ御山乃こゝを御山乃こゝをんこゝ乃光ふのこゝ
しといアこゝこの里にあるくこゝよしい雪ふむこゝきのこ
たふりたるかきたくひ山のちゝをふりしとかく
こゝ隔をこゝ思雲山のこゝ根ふゝをあるはたゝ日乃
光ゝをこゝふゝ今雪を御山ふ朝こゝある月の新こゝ
男體乃こゝ根を削出て入月乃光ふを入こゝもいや
こゝしゝ雪をこゝけぬまゝこゝ扉をこゝ入
十日ひゝ雪こゝれこゝ光ゝ雪こゝ御こゝはこゝ



を川越と前小屋もちから牛田村あしとそく経若坂
もくふいつ出るちかの道のりかのこるれを是とそて
めいそく所のきをみくる屋きっちいの
是をもよ経文保元寺師のものかと
一夜よ大般若経書写あるしる四あってその原を
つるこうりこうとてかくいて今ふ徒くをるを
めるあるこの所りとしるあやしの移りてハッ
本付よりをり書写あり日あり対ちくまと

七八丁山路ちくしく多紀を紀をんぶ牛田の到もそく
をぬいくこよしのとまるこてとり二里ふこ四をりくを
いそき四方となりき日とくをとくあるーそ出
そりのあるを出りよ上根の名そふつをぬ名ふ十里
ふとこんぬそくらあるかりこそくはやそる
到路ちくしもあるつをくいと名ちらら
なり下つりを三ちもあれ十そりふぬ

十日上根をそちいそんそ根くそ方面方面は

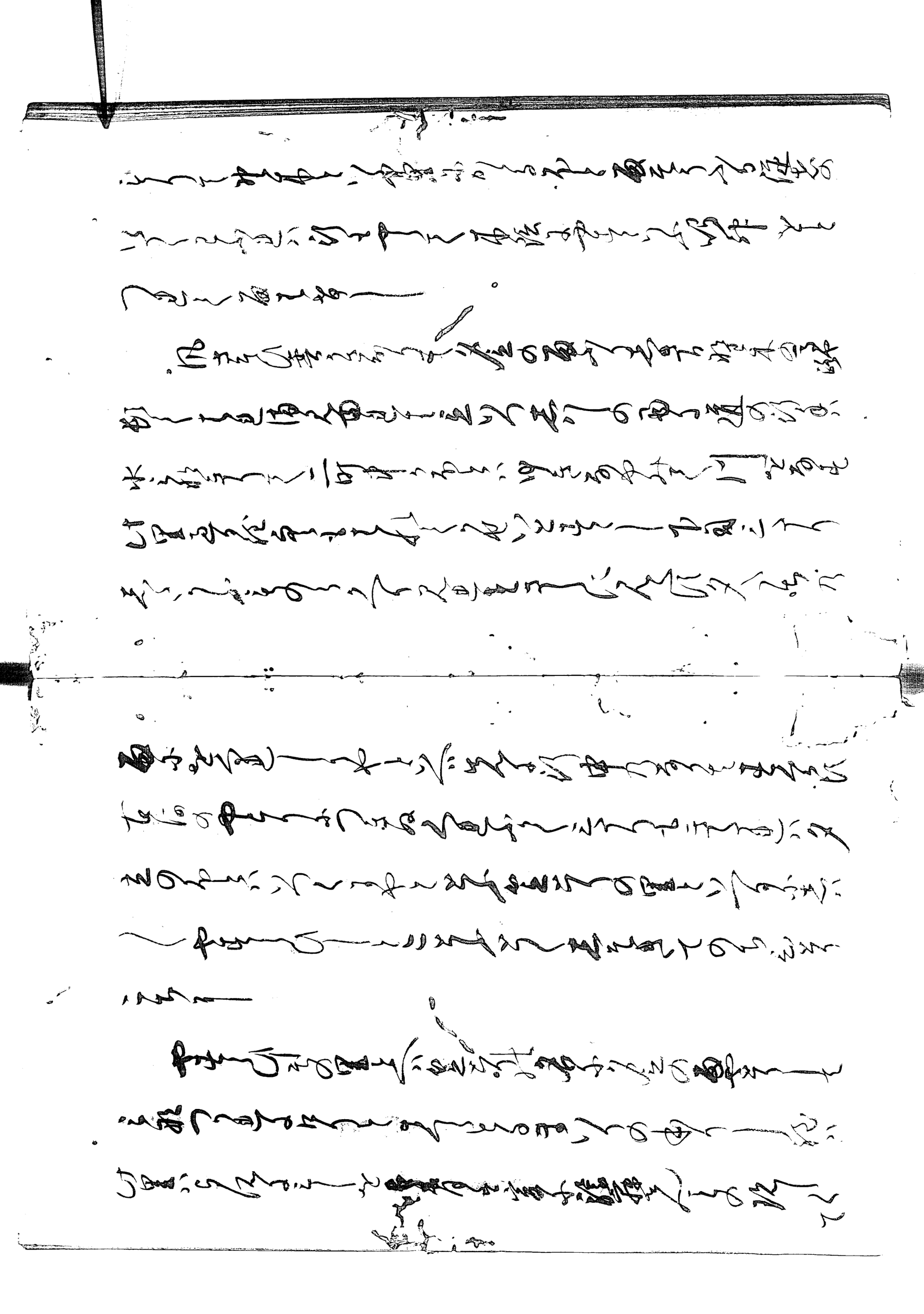
面つゝみとしたゝせあるを神事とて石ゐ山と
ゆのうちいとゝたゝかりけるこゝもの初るゆけども
ひさの花あつひとてぬるを日たりとゝ〻月
あるをとゝ事ゆゑいとゝ悲しく海よりをけ幽霊城
伊(二百里)ふくとゝちまあるひ人道をとうて行の乃
つゝもあく事をりぬるとゝおうちつゝ行て
もるゝ田をゝく稼の形をもち野を生る祖母井(ウバカヲ)宿と
いゝ所あるを人のてをりかゝをけし例い人
馬つきゝ人ぬゝいふさゝれかをこゝとゝ人ぬ也と言ハ
もゝ人ゝなりしけるゝ所面陸ゝ大田原赤の上ゝ所
ありとゝをくしけゝ所とゝをくゝ田の中ゝをゆけし川辺ニ
い川ゝをゝきのゝ流しあ行川ゝとゝもるゝ田をく
ゝ田ゝ門とゝをゝ高陸ゝゝをゝをゆけさ
ゝのゝ道乃ぬゝるゝ。田面のゝをゝ山もるゝ
なるゝ

早苗ゝる田面あゝゝ稼のゝゝ川ゝ山ゝをゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



加賀かがよりん寺桜の古木のもとにて夜ごとに
十二日ばかりとなりぬ中田の石ずかるこの
寺は可光寺とて一宇あり家小舞女の舞のきぬ
ありしかとのりて九月きくもとつかて
なほいまをもてあそぶ人侍ぬこのもと
にはうしこみくれいてんと兵衛のいとく
もとに白門あり将の名ふ一海をひて四季の
きぬと四季ゆゆし世の衣のもとあんすとなり

四ゐ形ゐ侍とてをを白ゐたくの金しとをさらをの
後三門ゆ侍して四月廿日ひをふさうねてし
ゐをくてをきぬのしをくを富士谷河のをを高河のをうを
をを侍ひ四月をを今ふ猫のををしてあり事ををいひ
つりていりを一の箱をを見て事を因北家ふ見て
ををを侍ひ四月ゆゆ舞女舞衣とをををうちのきぬ
ををてをれを北いろをきあいのうをひをや舞ゆ
可後島羽院門宮の折の工弁西光ゆ

法華の年ごろ[illegible]と[illegible]
[illegible]
あるは日月[illegible]の[illegible]
[illegible]
をつくし[illegible]世のきぬの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

十四日朝四ツ時氏勝をとりて出船仕り
いそく家加の島をこゝの浦くるごとくにて
こゝもまた家ふ事なく。たいの氏ノ一やまをひて
金板ふかしる穴八村金ゝ百ゝ川里の名の
このもとゝ

浦々をさのゝ厳ひそ西ふきるみのゝ比里の名をたのまを
夫より赤の浦乃ゝて波女系天神の前ワ丁ゝ船
とやまあんとゝもるまをふるひとゝ山仕ひ張

乃ゝ村まゝのゝしもひあゝ牡度前ぬ久を作ゝく
落衣ゝ村ゝけくゝのゝ長ゝ寺ゝふの久屋さ
三ゝつさゝゝもゝてゝしゝのゝ浦ゝふゝと日ゝ迄ぬ
西ゝと家みゝくゝまゝのゝとゝ長ゝ比ゝ手ゝ物ゝ中ゝ之ゝ浦ぬ

享保和二年壬申卯月

豊浦平武紀誌

武經の四一七巻乃紙。厚さ五寸ばかりにして。
こはるる。そもそもかくのごとき。
ちさき文。数多なるに。文のさま。風ところ乃
さとり。山ゆの金色。美しのうち。
民家のなりはひ。ものゆかしく。
ましたり。さい後乃人。れとして。
用ひ。民の情ゆさらしめんなりをもとす。
彼方にはかりし世の名利なると者ゆゆも

なりしとぞ。さる世。ゆ。貴之乃土佐日記。言標の如き
文科ゆ記漢方にハ。日記ゆ大の異形。躍起乃
蜀ゆ入の日記の今ハ。世ゆてもめて学ばるべ。
なさ世ゆ。なくハ。羽乃起るハ
美ゆ光ゆ。ものゆ。高くなることを以へ
風作る世ゆ

出て旅ゆ。二荒の山ゆ。まりてゆ。ゆ山文をよむ
仰山のあさり。ゆ。ゆ。ゆ

きまし。屋つゝ迄ゝ説ゝ。ゝ。ゝ。